

第9回浦和区区民会議 議事録(確定版)

1 日時：平成 18 年 4 月 22 日(土) 14:00～16:30

2 会場：さいたま市民会館うらわ 603 会議室

3 出席者(敬称略)

団体推薦：新井幸芳(青少年育成さいたま市民会議) 大関豊壽(浦和歯科医師会)

小川晃(埼玉中央青年会議所) 小原茂(浦和区自治会) 柿塚一二三(浦和区
民生・児童委員協議会) 坂場きみ(地区社会福祉協議会) 坂本和哉(浦和区
自治会連合会) 大工原潤(元市民懇話会) 大郷恒吉(北浦和 GINZA レッズ
商店街) 中島昌男(さいたま市薬剤師会) 東一邦(さいたま NPO センター)
水谷元雄(浦和医師会) 吉野勝則(さいたま市 PTA 協議会浦和区連合会)

公募委員：樫田範子、岡野昭夫、鈴木隆吉、山本信子

コミュニティ会議委員：秋山忠一(北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブをつく
る会) 岡田唯文(コミュニティキャンパス浦和) 丸山繁子(さいたま市リサ
イクル女性会議・浦和) 吉岡基代(浦和区四星会)

浦和区長：木内一好

事務局：小泉俊一(副区長) 新藤茂(区民生活部長) 礒部弘(健康福祉部長) 野村宏
(区民生活部コミュニティ課長) 日野徹(同課長補佐) 金子秀行(同主幹)
吉田博昭(同副主幹) 大嶋幸子・小宮慶太(同主任) 竹村真(同主事)

運営補助：福田律子(システム科学コンサルタンツ株)

4 次第

浦和区人事異動紹介

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

区政方針について

4 議事

(1)平成 17 年度コミュニティ会議事業の諸報告について

(2)浦和区区民会議平成 17 年度活動報告書について

(3)平成 18 年浦和区まちづくり推進事業に係る予算の概要について

(4)平成 18 年度区民会議の活動計画について

(5)区民会議の開催スケジュールについて

(6)所属部会の変更及び部会ごとの打合せについて

(7)その他

5 閉会

5 内容

- ・開会に先立ち、人事異動により4月に着任した区長および浦和区コミュニティ課長の紹介があった。
- ・議事に先立ち、平成18年度区政方針について、事務局より説明があった。

議事概要

(1) 平成17年度コミュニティ会議事業の諸報告について

平成17年度コミュニティ会議事業について、事務局より、つぎのとおり報告があった。

昨年度は、認定30団体のうち17団体から補助の申請があり、2団体については、概算払いした助成金から執行残を戻し入れた。15団体は事業計画どおりに実施され、概算払いした補助金は適正に管理、支出されていることを確認して、交付決定額どおりに確定した。

補助金の交付は原則3年としているが、その後の助成の考え方について、区民会議からの提案なども踏まえ、事務局では次の方針で臨むのはいかがでしょうかと考えている。

- ・地域活性型事業については、3年の原則期間に自立を目指していただくが、自立にいたらない場合、3年経過後、2年間支援していくこととする。
- ・補助率については、4年目にあっては前年度の80%、5年目にあっても前年度の80%とする。ただし、補助金額が20万円以下の場合、予算の範囲内で必要な額を補助する。
- ・全区参画型事業、スキルアップ事業については、これまでどおりの助成とする。
- ・助成申請団体による事業計画説明と意見交換については、区民会議からの提案のとおり、運営部会において行い、全体会では事務局が一括して報告する。

(意見交換)

会 長：以上の報告について、ご質問などあればどうぞ。運営部会長のお考えは。

運営部会長：いい案だと思う。実際の申請状況を見ると、大規模なものはまれで、申請金額の小さい事業が多く、小さい団体がいろいろな活動をしているのが実情である。そうした点を配慮してあるのがいい。

会 長：企画部会長のお考えは。

企画部会長：基本的にはいい案だと思う。できれば、20万円のところにも、あと2年での自立を考えていただきたい。

委 員：事務局の考え方でいくと、6年目はゼロになってしまうということか。

会 長：その点は、あと2年のあいだに、助成制度の活用のされ方などを見ながら検討すればよいと思う。

委 員：助成がいつまでもずるずる続くというのはよくないと思う。

委 員：単なる補助と、団体の育成とに分けて、その後の助成のあり方を考えるというのもあるかもしれない。

会 長：いろいろご意見をいただいたが、当面は事務局の考え方で臨むことでよろしいか。では、次の議題にうつる。

(2) 浦和区区民会議平成17年度活動報告書について

平成17年度活動報告書の最終案が提示され、委員からの次のとおりの修正意見を受け、確定した。

(意見交換)

委員：19頁に、部会の様子の写真があるが、もっと日頃の雰囲気が出る写真があれば、差し替えていただきたい。

事務局：ご意見のとおり対応する。

委員：19頁の表中「今年度の取り組み」の欄に「地域通貨について事例調査した内容を発表」とあるが、事例を研究することよりも、地域通貨とはなんぞやという点をまとめることに力点があったので、「地域通貨について調査した内容を発表」といった表現のほうが適切である。

事務局：ご意見のとおり修正する。

会長：ほかに、ご意見はあるか。では、ご指摘にあった修正をして確定したい。なお、この活動報告書は、来月、区長と区民会議会長で市長に報告することになっている。

(3) 平成18年度浦和区まちづくり推進事業に係る予算の概要について

平成18年度浦和区まちづくり推進事業の予算が示され、次の質疑応答があった。

(意見交換)

委員：いわゆる1億円予算がどのように使われているのか、とくに、まちづくり基本経費の用途について、もっと詳しい説明を聞きたい。前回も、まちづくり基本経費3百数十万円の用途についての質疑応答の部分から、細かい数字が抜け落ちていたことを指摘したが、そうしたことは、なにか適切でない使われ方がされているのではないかという疑念を抱かせる。その辺をきちんとし、来期に引き継いでいかなければいけない。

事務局：まちづくり基本経費は区民会議の運営に係る費用であり、コンサルタント委託料約250万円と区民会議委員謝金の約50万円となっている。

委員：事務局の説明では、まちづくり基本経費のうち250万円がコンサルタント委託料で、大半をしめているが、それが適正なのかという点も含めて、吟味しなくてはならないと思う。区民会議がたちあがってから、区民会議委員は再任であれば4年をつとめることになるが、区長もコミュニティ課長も3人目の方になっている。運営にコンサルタントが必要であるとは思いますが、優秀な職員もいるのに、さほどの委託料が必要だろうか。市民感覚とずれがある。議事録に細かい数字が記載されていないことについて指摘したが、その後、なんの対応もなく、疑惑でいっぱいであることを付記させていただく。

会長：今のご意見の趣旨を、引き続き事務局でよく考えていただきたい。

委員：委託料については、自分自身がこの仕事をするを想定してみると、こんなものだろうなという感覚である。用途についての信頼という点が問題になるようなら、予算の説明だけでなく、決算を示したほうがいいと思う。それよりも私が聞きたいのは、コミュニティの広場のための予算であるが、今年度も昨年度と同程度の額が必要と考えているが、それは、どこに含まれているのか。

事務局：コミュニティ活性化事業補助金 150 万円として積算している。

委員：予算に対する決算報告はすべきだと思う。ところで、さきほど説明のあった区政方針と、この予算が示す事業とが連動していない部分があるが、その点はどうなっているのか。

事務局：決算は昨年も区民会議に報告している。17 年度決算があきらかになっている夏ごろには、区民会議で昨年同様、報告したい。区政方針と連動していないというご意見についてであるが、さきほど説明したまちづくり推進事業費は区の予算だけであるのに対し、区政方針に掲げた事業には、区の予算の事業とともに、本庁の予算による事業も挙げている。また、予算要求上、わかりやすい事業名称を使っているため、表現の食い違いが生じていることもある。一致していないからといって、予算や事業がなくなっているわけではない。

会長：ほかにご意見は。では、10 分休憩ののち再開する。

(4) 平成 18 年度区民会議の活動計画について 及び

(5) 区民会議の開催スケジュールについて

平成 18 年度区民会議活動計画および区民会議開催スケジュールについて、事務局案が提示され、案のとおり承認された。

(6) 所属部会の変更及び部会ごとの打合せについて

所属部会の変更及び部会ごとの打合せについて、以下のとおり、事務局より説明があった。

- ・当初、所属部会の希望をお聞きして現在の所属が決められた経緯があるが、1 年が経過し、各部会の活動内容もおわかりいただけたと思う。現在も、オブザーバーとしてどの部会も参加可能ではあるが、主として属する部会を変えたいというご希望があるかもしれないので、所属部会の変更を認めるかどうかについてご検討いただければと考えている。
- ・皆さんがよろしいということであれば、机を移動して部会ごとに配置し、希望する部会表示のところに着席いただくという方法でご希望を聞きたい。その後、新たな体制で部会ごとに部会長・副部会長の人選や当面の活動計画など話し合っていたいただきたいと思います。

会長：所属部会の変更を聞いたほうがいいのかとのことであるが、いかがか。

委員：そういうことであれば、事前におたずねがあつてしかるべきではないか。この場でいきなりとは不穏当だし、席を替えてとのことだが、ざわざわと落ち着きがない。もっと格調高くやってもらいたい。

会長：今日は第 1 回目なので、2 回目以降の体制をどうするか話し合うというのは、妥当なことだ。

委員：席を替えてというのはともかく、希望を申告するのはよいと思う。

委員：所属部会の変更をするかどうかが議題なので、事前にお話しがなかったのは仕方のないことだ。

委員：いずれにせよ、部会ごとの打ち合わせは必要だから、まず、希望を聞き、その後、打ち合わせのために移動したらよい。

会長：昨年度は第 2 希望の部会に回っていただいた委員がおられた経緯もあり、改めて希望を聞いたほうがよいと思う。では、まず所属部会を変更したいというご希望はあるか。

(委員からの希望なし)

会 長：とくに変更のご希望はないようなので、昨年度と同じ所属で活動するというのでお願いしたい。では、部会ごとに、部会長・副部会長、今年度の活動方針について話し合っていたきたい。

(部会ごとの30分の話し合いののち、再開)

会 長：では、部会ごとの話し合いの内容を部会長から報告していただきたい。

(企画部会)

委 員：部会長は大工原、副部会長は山本委員で昨年度と同様である。今年度も企画部会では、防災・防犯と景観、そして、これらに市民参加を推進する方策として活用可能な地域通貨を検討していきたい。また、浦和駅東口再開発事業のことは、現在でもよく話に出るので、必要なときに検討をしたい。

景観については市の景観形成基本計画の区別構想が夏には示されると思うので、早目に検討を始めたい。そのため、毎回の部会に臨むにあたって、各委員が話したい内容などをまとめたレジユメを用意することにした。次回は5月26日に開催する予定である。

(運営部会)

委 員：運営部会も、部会長は大関、副部会長は岡田委員で昨年と同様である。検討課題としては、公募委員の任期のあり方、全区参画型のコミュニティ会議事業と位置づけられている「二七の市」を、当初の目標でもあった「区民による区民のまつり」として育てていくための仕組みの検討などがある。そのほか、区民会議を運営するうえでの細かい問題なども、必要であれば話し合っていくこととした。次回は5月16日に開催する予定である。

(広報部会)

委 員：広報部会も、昨年と同様、部会長は柿塚、副部会長は東委員である。活動方針であるが、まず、昨年創刊号を発行した区民会議だよりを今年度は2回発行することとした。また、コミュニティの広場を開かれたものにしようというのは、昨年度の反省会からの懸案事項であり、今年度は交流発表会を拡大して、区民や9つの他区にも参加を呼びかけようということを検討しはじめている。そのため、運営部会でコミュニティ会議の事業計画説明が行われる際には、是非、「コミュニティの広場への参加、協力をお願いする」と呼びかけていただきたい。また、さきほど、運営部会からの報告にも話があった二七の市であるが、これを区民会議するのはおかしいが、ある部分を担うということであれば、ありうると思うので、協力関係を深めたい。

会 長：ありがとうございました。では、今年1年、そのような形で進めていただきたい。

その他

・次回全体会は、6月1日(木曜日)午後6時半から市民会館うらわ503号で開催する。

以 上